

“猪名川(藻川)のアユの産卵場づくり”を実施しました ～流域の市民と力を合わせて、猪名川のアユを増やそう！～

～猪名川河川事務所～

藻川漁協、神崎川水質汚濁防止連絡協議会猪名川分科会(事務局:猪名川河川事務所)の主催で、『猪名川(藻川)のアユの産卵場づくり』を、流域の団体及び一般募集した市民の総勢50名で実施しました。

今年は初めての開催でしたが、市民団体、漁協、NPO等のたくさんの団体の協力により、あいにくの天気にも関わらず、無事に第一回を飾ることができました。今後、整備した産卵場で多くのアユが生まれることを期待しています。

開催概要

- 日 時 : 平成29年10月15日(日) 9時30分～12時00分
- 場 所 : 兵庫県尼崎市田能 中園橋付近
- 参加人数 : 参加者 50人
- 内 容 : 産卵場づくり、猪名川のアユと環境の話、猪名川の漁業の話、アユの試食
- 主 催 : 藻川漁業競協同合、神崎川水質汚濁防止連絡協議会 猪名川分科会
(構成:猪名川漁協、猪名川河川事務所等)
- 協 力 : 猪名川町立六瀬中学校ふるさとクラブ、自然と文化の森協会、NPOまいどいんあまがさき、やさしあ

イベントの様子

幸いにもイベント開始前に雨がやんだので、すぐに産卵場作りを開始しました。(作業範囲決定:藻川漁協、耕し方説明:猪名川漁協)。参加者の頑張りにより、当初予定していた作業範囲(10m×40m)をすぐに整備し終えたので、さらに範囲を広げました。

作業終了後、猪名川漁業の話猪名川漁協組合長の鈴木さんに、猪名川のアユと環境の説明を環境省環境カウンセラーの中西先生と猪名川町立六瀬中学校ふるさとクラブのみなさんで行ってもらいました。

その間に、猪名川漁協が提供するアユも焼けて、試食会を始めました。参加した子供達はアユをととてもおいしそうに食べていました。

偶然河原に遊びに来た少年が、面白そうだからと、産卵場作りに飛び入り参加をしてくれた一面もありました。

なお、参加者募集にあたっては、身障者作業所のNPOまいどいんあまがさきとNPOやさしあの皆さんが、チラシを戸別配布して頂いており、たくさんの参加者によりイベントを開催することができました。

産卵場作り 河床を主にふるはし(子供は籠手)で耕す
作業計画:藻川漁協 耕し方指導:猪名川漁協



産卵場作り 耕したところを整形



猪名川のアユと環境の話
環境カウンセラー 中西先生
猪名川町立六瀬中学校ふるさとクラブ



1人1匹アユの試食
猪名川漁協提供



アユの塩焼き(炭火)



参加者の声

『アユが増えたらいいね』『上流のアユはおいしい』『産卵の調査はあるの?』『天気がもってよかった』などのご意見を頂きました。調査は公開で予定しています。HPIにも載せます。

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 猪名川河川事務所 工務課
〒563-0027 大阪府池田市上池田2-2-39 TEL 072-751-1111 (代)

